（別紙4（2））

事業所名　グループホーム　いずみ

目標達成計画

作成日：　令和5年　1月　22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	本人の暮らしを支える介護計画は、家族との共通理解の下、作成し支援に繋げることが望まれる。介護計画を家族へ知られる方法について検討し取り組むことが待たれる。	介護計画を家族へ知らせ、家族との共通理解を深めることが出来ている。	①ケアマネジャーと連携し、請求書の中に新しくプラン化した介護計画書を同封し、共通理解を深める。②電話で話す時や面会時にケアプランについて内容を理解する。	0ヶ月
2	33	重度化や終末期における事業所の方針や緊急時の意向確認などを明示し、事業所が出来る事を本人・家族に伝える仕組みづくりが望まれる。	重度化や終末期における事業所の方針や緊急時の意向確認などが本人や家族で情報共有が出来ている。	重度化や緊急時の意向確認などが分かる書面を作成し、本人や家族へ伝達する。また事業所との情報共有周知に努める。	6ヶ月
3	35	利用者の命を預かる事業所として、立地条件に想定される自然災害のマニュアルを整備し、訓練実施が望まれる。	台風や火災以外にも地震や津波、洪水などの立地条件に想定される自然災害のマニュアル化が出来ており、避難訓練も出来ている。	ハザードマップなどを確認し、何の災害に対応できるかを把握。個別に災害のマニュアルを作成。	12ヶ月
4	36	家族との連絡に管理者の個人所有の携帯電話を使用する事は、管理者の個人情報保護の観点から不安が残る。事業所としての連絡方法について法人内での検討が望まれる。	法人用の携帯電話で、電話対応が出来ている。	事務長に早速話を通したが、いまいちの反応であった。考慮したところすぐにでも個人で出来る対応策は、184番号で非通知で電話を掛けることであるが、それは相手が非通知拒否であると困難。	24ヶ月
5					ヶ月